

# 全学向け情報教育の近況報告

メディア情報処理研究部門

右田 雅裕

[migita@cc.kumamoto-u.ac.jp](mailto:migita@cc.kumamoto-u.ac.jp)

## 1. はじめに

本稿では、平成 23 年度の本学における全学向け情報教育の近況について報告します。

情報基礎演習科目「情報基礎 A・B」は、熊本大学の全 1 年生約 1800 名を対象に開講されており、総合情報基盤センターが主体となり実施されてきました。情報分野における基礎的な知識と技能の習得を目標とした教育体制が平成 14 年度より実践されています。

## 2. 情報基礎 A・B

情報基礎 A・B は、本学の全 1 年生を対象にそれぞれ前学期及び後学期に開講される情報基礎演習科目です。平成 23 年度は、「情報基礎 A」が 26 クラス約 1850 名の受講者で、「情報基礎 B」が 26 クラス約 1870 名の受講者で構成され、それぞれ 13 名の教員（ともに内非常勤 3 名）が講義を担当しました。情報基礎 A・B では、LMS (Learning Management System)として WebCT (現 Blackboard Learning System) を用いて、テキスト（独自に作成したオンラインコンテンツ）の提示や課題の提出、確認テスト（オンラインテスト）等が実施されています。平成 23 年度も 4 月から通年にわたり特に大きな障害もなく演習が実施されました。

今年度の特記事項としては、情報基礎 A 及び B の両方に関するテキストの大幅な改訂が挙げられます。テキストの内容についてはこれまでも年度ごとに改修が行われてきましたが、今年度は学習テーマの見直しが行われています。情報基礎 A 及び B では、それぞれ以下のような新しい内容が加わりました。

- 情報基礎 A
  - ・ スマートフォンのセキュリティ
- 情報基礎 B
  - ・ Flash アニメーション
  - ・ ActionScript を使ったプログラミング
  - ・ SNS
  - ・ 電子メールの暗号化



図 1 平成 23(2011)年度の「情報基礎 B」ホームページ

いずれも新しい学習テーマで、近年の情報環境の変化に応じた内容となっています。それから、もう一点、情報基礎の演習環境である全学計算機システムが 4 月より新システムへと移行しました。運用開始当初、PC の起動に旧システムよりも時間を要していましたが、PC 起動時間短縮の改善が適宜図られ、特に大きな障害もなく演習に利用することができました。

## 3. 情報基礎 A・B アンケート結果

情報基礎 A・B では各学期末の講義終了時に受講者（学生）へのアンケートを LMS 上で実施しています。ここでは平成 23 年度に実施したアンケート結果の一部を示します。

### 3.1 情報基礎 A のアンケート結果

#### 質問 1

フォルダの新規作成、ファイルのコピーとペーストや移動、ファイルやフォルダの削除などの操作を行えますか？

- a. 自信をもって行える
- b. ある程度は行える
- c. できない
- d. 質問の意味が分からない

図2に質問1の結果を示します。

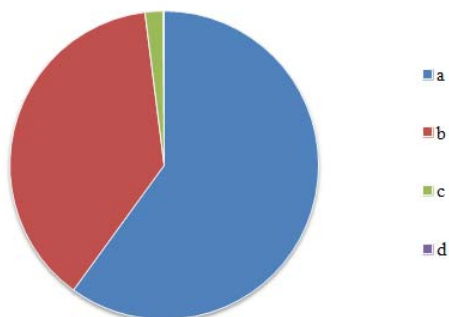


図2 質問1の結果 (回答数: 1491)

- a. できる
- b. ある程度はできる
- c. できない

図4に質問3の結果を示します。

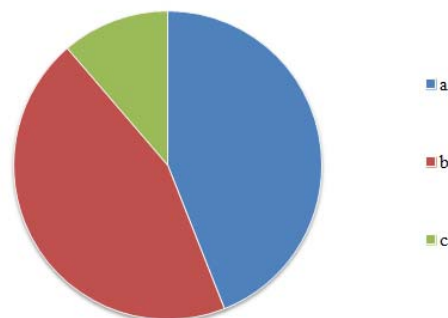


図4 質問3の結果 (回答数: 1491)

#### 質問2

プレゼンテーションソフトウェアを利用して、文章、静止画だけでなく、アニメーションなど動きのあるプレゼンテーション資料を作成できますか？

- a. できる
- b. ある程度はできる
- c. できない

図3に質問2の結果を示します。

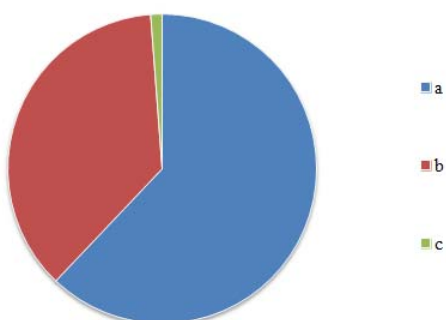


図3 質問2の結果 (回答数: 1492)

#### 質問3

Web検索において、AND検索とOR検索を適宜、使い分けることができますか？

#### 質問4

情報基礎Aでは多くのことを学習してきました。あなたが良かった、面白かった、役に立ったと思える回を3つあげてください。

- a. INFOSS 情報倫理
- b. 電子メール (Thunderbird の利用)
- c. ワードプロセッサ (OpenOffice.org Writer)
- d. ペイント (GIMP)
- e. ドロー (OpenOffice.org Draw)
- f. 情報検索
- g. プレゼンテーション (OpenOffice.org Impress)
- h. スプレッドシート (OpenOffice.org Calc)

図5に質問4の結果を示します。図5の縦軸は各選択肢の全回答に対する割合を示します。

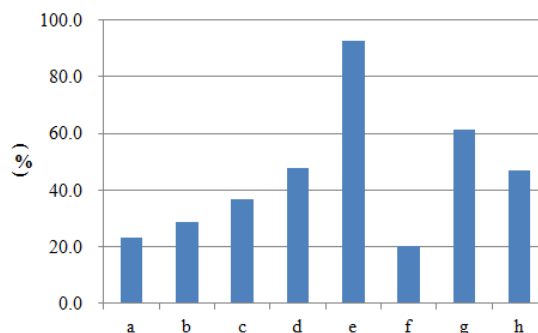


図5 質問4の結果 (回答数: 1490)

### 3.2 情報基礎 B のアンケート結果

#### 質問 5

あなたは大学入学以前に（中学校、高校、自宅などで）、Web ページを作成したことがありましたか？「ある」場合は「いつ／どこで」を、「ない」場合は「ない」を選択してください。

- a. ない
- b. 中学校
- c. 高校
- d. 中学校と高校
- e. 自宅
- f. それ以外

図 6 に質問 5 の結果を示します。

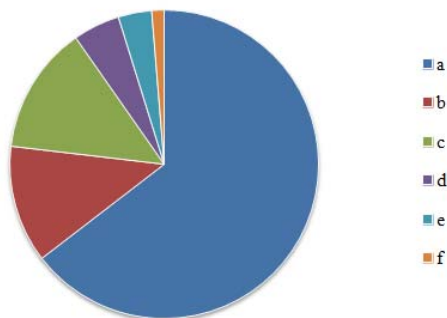


図 6 質問 5 の結果 (回答数: 1354)

#### 質問 6

情報基礎 A 第 2 週、情報基礎 B 第 13 週で利用した Linux についてお尋ねします。Linux を利用したのは初めてですか？

- a. 初めて利用した
- b. 以前、利用したことがある
- c. とくどき利用している
- d. ほぼ毎日利用している

図 7 に質問 6 の結果を示します。

#### 質問 7

情報基礎 B では、Web ページ作成における基礎事項として、HTML、CSS、ActionScript (Flash アニメーション) を学習しました。あなたにとって、難しく感じた学習内容の順番をお教えください。選択肢は、「易しい → 難しい」の順に並んでいるものとお考えください。

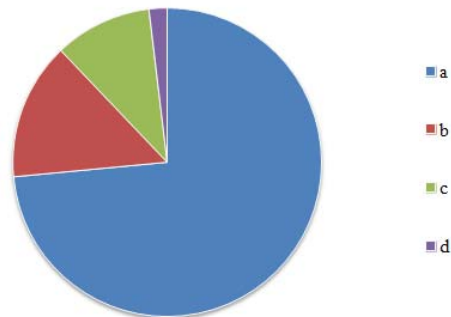


図 7 質問 6 の結果 (回答数: 1348)

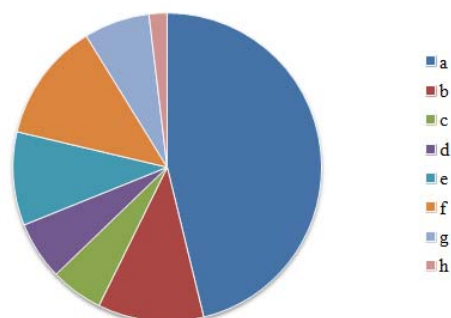


図 8 質問 7 の結果 (回答数: 1352)

- a. すべて同じくらい難しかった
- b. HTML → CSS → ActionScript
- c. HTML → ActionScript → CSS
- d. CSS → ActionScript → HTML
- e. CSS → HTML → ActionScript
- f. ActionScript → CSS → HTML
- g. ActionScript → HTML → CSS
- h. すべて易しかった

図 8 に質問 7 の結果を示します。

#### 質問 8

Web ページ作成の学習であなたがもっと学習してみたいことがあればお聞かせください。複数回答は可能です。

- a. HTML をもっと詳しく
- b. CSS をもっと詳しく
- c. ActionScript (Flash アニメーション) をもっと詳しく
- d. Web デザイン関連について
- e. Web アクセシビリティについて

- f. Web プログラミング
- g. Web にマルチメディア（音声や動画など）  
をもたせる方法
- h. Web ページの公開と関係する著作権や情報  
倫理について
- i. Web を含むインターネット技術について
- j. 特にない

図9に質問8の結果を示します。図9の縦軸は各選択肢の全回答に対する割合を表します。

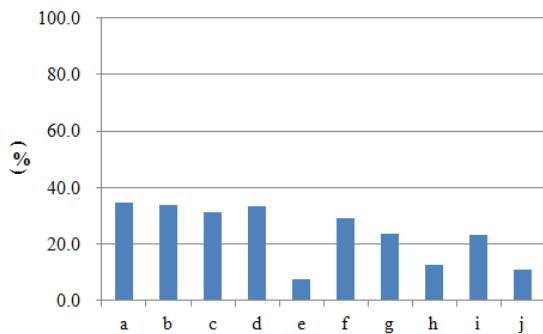


図9 質問8の結果（回答数：1352）

### 3.3 考察

情報基礎 A に関しては、プレゼンテーション資料を作成できるという回答が増加しています（質問2）。特に、良かった、面白かった、役に立った学習内容としてドローソフトを回答した受講者の増加が顕著です（質問4）。情報基礎 B に関しては、今年度より学習内容に加わった ActionScript を難しいと感じている受講者が相対的に多いようです（質問7）。また、もっと詳しく学習したい内容として HTML 及び CSS に対する回答が増加していますが、Web にマルチメディアをもたせる方法については逆に減少しています（質問8）。後者に関しては、今年度より学習内容に加わった Flash アニメーションによる影響と考えられます。

## 4. おわりに

前年度（平成22年度）のアンケートと比較して、全体として概ね同傾向の結果が得られています。しかしながら、何点かの差異も見受けられ、これらは今年度のテキスト改訂によるものと考えられます。これらの結果は、今後の情報基礎 A・B の講義・コンテンツ改善に役立てていく予定です。